

「水辺の環境活動プラットフォーム」に会員登録いただきありがとうございます。

環境省では、水辺・海辺について、これまでの「保全」に加え、「活用」の観点も重視した新たな政策を進めています。

本プラットフォームでは、良好な水環境等の保全・活用に関する行政・企業・団体の様々な情報を月1回程度メールマガジンでお届けします。

また、環境省環境創造室の「公式SNS（Facebook、X、Instagram）」を開設しました！

公式 SNSでは、良好な環境に関することや環境創造室が取り組んでいる業務等をより身近に、タイムリーにお届けしていきますので、ぜひフォローをお願いします！

---* ◆水辺の環境活動PFメールマガジン* ◆◇第6号《号外》* ◇* -----

【1】「2025年度グッドプラクティス塾～流域・サプライチェーン連携による水環境の保全・活用の促進～」を開催します！《事務局》

【2】「学ぶ・つながる・行動する：ESDを踏まえた海洋教育オンライントークイベント～里海づくりの未来に向けて～」を開催します！《事務局》

【3】「松永湾の未来を語る日～松永湾里海協議会設立記念シンポジウム～」を開催します！《松永湾里海協議会・事務局》

【1】「2025年度グッドプラクティス塾～流域・サプライチェーン連携による水環境の保全・活用の促進～」を開催します！

環境省では、民間企業等が「水」に関するグッドプラクティスをお互いに共有する場として、2019年より「グッドプラクティス塾」を始動し、継続的に活動しています。

2025年度のグッドプラクティス塾は、「流域・サプライチェーン連携による水環境の保全・活用の促進」をテーマとして、2025年3月5日に始動した「ジャパン・ウォータースチュワードシップ（JWS）」の概要や参画企業の取組についてご紹介いただきます！

【日 時】令和7年11月26日（水）10:00～11:45

【会 場】オンライン開催（zoomウェビナー）

【参加費】無料

【定 員】オンライン500名

【プログラム（予定）】

〇AWSとJWSのご紹介

アライアンス・フォー・ウォーター・スチュワードシップ

（Alliance for Water Stewardship, AWS） 難波 圭 氏

〇サントリーの水理念とウォータースチュワードシップの取り組み

サントリーホールディングス株式会社 サステナビリティ経営推進本部

瀬田 玄通 氏

〇日本のコカ・コーラシステムによる水資源保全活動について

日本コカ・コーラ株式会社 広報・渉外&サステナビリティ推進本部

李 アンジェラ 氏

〇クリタグループの「水資源の問題解決」に向けた取り組み

栗田工業株式会社 サステナビリティ経営戦略室 戦略推進部 CSV推進課

久田 夢実子 氏

○日本におけるウォータースチュワードシップの可能性と課題

八千代エンジニアリング株式会社 サステナビリティサービス部

吉田 広人 氏

○水災リスクと流域の水管理

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

サステナビリティ推進部 浦嶋 裕子 氏

○質疑応答・意見交換

▽お申込みはこちらから（11月24日（月）17:00まで）

<https://questant.jp/q/SM1XRWJ9>

▽詳しくはこちら

https://www.env.go.jp/press/press_01541.html

▽お問合せはこちらから

「令和7年度企業の脱炭素実現に向けた統合的な情報開示に関する勉強会」事務局（株式会社野村総合研究所）：3shakai-reception@nri.co.jp

オンライン開催

環境省
Ministry of the Environment

2025年度 グッドプラクティス塾
～流域・サプライチェーン連携による
水環境の保全・活用の促進～

開催日時 2025年 11月26日(水)
10:00～11:45

グッドプラクティス塾とは
健全な水環境・水循環の実現に向けて、企業、自治体、教育・研究機関等、あらゆるステークホルダーの参加や連携を促すための情報共有・意見交換の場です。
※昨年度の開催結果はこちら

プログラム(予定)

開会挨拶..... 環境省

話題提供
○AWSとJWSのご紹介
アライアンス・フォー・ウォーター・スチュワードシップ
(Alliance for Water Stewardship, AWS) セクター・コーディネーター(日本)
経渡 圭 氏

事例発表
○サントリーの水理念とウォータースチュワードシップの取り組み
サントリーホールディングス株式会社
サステナビリティ経営推進本部 部長 気候変動・生物多様性統括
瀬田 玄通 氏

○日本のコカ・コーラシステムによる水資源保全活動について
日本コカ・コーラ株式会社
広報・渉外&サステナビリティ推進本部 サステナビリティ シニアマネージャー
李 アンジェラ 氏

○クリタグループの「水資源の問題解決」に向けた取り組み
東田工業株式会社 サステナビリティ経営戦略室 戦略推進課 CSV推進課
久田 夢実子 氏

○日本におけるウォータースチュワードシップの可能性と課題
八千代エンジニアリング株式会社 サステナビリティサービス部 課長
吉田 広人 氏

○水災リスクと流域の水管理
MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
サステナビリティ推進部 上席スペシャリスト
浦嶋 裕子 氏

質疑応答・意見交換
～流域・サプライチェーン連携によるウォータースチュワードシップ活動の促進に向けた課題と可能性～
各事例の取組の中で見えてきた流域・サプライチェーン連携による課題と可能性について、
参加申込時に頂いた質問などを踏まえながら意見交換します。

開会挨拶..... 環境省

申込方法
お申込み:こちらから 申込締切日:令和7年11月24日(月)17:00 [参加申込フォーム]
※ 定員500名になり次第、受付は終了しますので御了承ください。
※ フォームからのお申込みができない場合には、メールにてお問い合わせください。
■お問合せ:事務局(株式会社野村総合研究所) 3shakai-reception@nri.co.jp

【2】「学ぶ・つながる・行動する：ESDを踏まえた海洋教育オンライントークイベント ～里海づくりの未来に向けて～」を開催します！

環境省では、海洋教育・ESD（持続可能な開発のための教育）の理念をもとに、地域の海と人とのつながりを見つめ直し、次世代の「里海づくり」につなげる新たな学びの場を開催します。

本イベントでは、ESDや海洋教育の現場で活動する行政・研究機関・学校の多様な関係者が集い、実践事例の紹介や高校生とのクロストークを通して、未来の海を育む“学び”と“行動”のかたちを考えます。

【開催概要】

タイトル：学ぶ・つながる・行動する：ESDを踏まえた海洋教育オンライントークイベント

テーマ：～里海づくりの未来に向けて～

日時：令和7年11月5日（水）15:30～17:30

形式：オンライン（Zoom）

参加費：無料

対象：どなたでも参加可能

（海洋教育やESDに関心のある方、実践者、支援者など）

定員：上限なし（事前申込制）

【プログラム（予定）】

第1部：イントロダクション

- ・開会挨拶：環境省大臣官房総合政策課 環境教育推進室長／OPRI 所長
- ・趣旨・本日の流れ説明：環境省 海域環境管理室

第2部：取組紹介

- ・環境教育・ESDの推進について（環境省 環境教育推進室）
- ・令和の里海づくり（環境省 海域環境管理室）
- ・海洋教育パイオニアスクール事業から見た課題と可能性（OPRI）
- ・里海づくりと海洋教育をつなぐ実践例：奥尻高校を例に（北海道奥尻高等学校）
- ・パイオニアスクール採択校から（発表校・タイトル調整中）

第3部：クロストークセッション

テーマ：高校生の視点から考える

「ESDを踏まえた未来の里海 × 海洋教育」

登壇者：奥尻高校生徒＋パイオニアスクール採択校

全体コメント：環境省 海域環境管理室／環境教育推進室／OPRI 客員研究員 日置光久

進行：OPRI 嵩倉美帆

※プログラム内容は変更となる場合があります。最新情報は下記公式SNSにて順次お知らせいたします。

Facebook: <https://www.facebook.com/KankyoQOL>

Instagram: <https://www.instagram.com/kankyoryoko/>

【申込方法】

参加をご希望の方は、下記フォームより必要事項を入力の上、

11月4日（火）12:00（正午）までにお申し込みください。

登録いただいたメールアドレス宛に、**当日（11月5日（水）12:00まで）**に参加URLをお送りします。

申込フォームはこちら → <https://forms.office.com/r/8Ck6w3UTez>

OPRI × MOE 海洋教育ZOOM企画

学ぶ・つながる・行動する：ESDを踏まえた海洋教育 ～里海づくりの未来に向けて～

環境省 × 海洋政策研究所 共催オンラインイベント

開催概要

日時 2025年11月5日（15:30-17:30）

形式 Zoom

共催 海洋政策研究所
環境省（環境教育推進室・海域環境管理室）

参加費 無料

プログラム

第1部：イントロダクション
開会挨拶：環境省環境教育室長/海洋政策研究所所長
本日の趣旨説明：海域環境管理室より

第2部：プレゼンテーション
環境教育・ESDの推進について
令和の里海づくりについて
海洋教育バイオアスチル事業から見た課題と可能性
里海づくりと海洋教育をつなぐ実例：
※里海づくり・バイオアスチルプログラム採択校から

第3部：クロストークセッション
テーマ：「高校生の視点から考えるESDを踏まえた“未来の里海”海洋教育」





【参加登録】

海洋政策研究所
環境省

海と学びを、未来へ。

—海を知り、地域とつながり、次の行動を生み出す—

“学び”から“行動”へ踏み出すあなたの参加をお待ちしています。

【3】「松永湾の未来を語る日～松永湾里海協議会設立記念シンポジウム～」を開催します！

かつての松永湾は、広がる藻場と多様な水産資源に恵まれた豊かな里海でした。

しかし近年、海の環境変化により藻場や水産物の減少が進み、人と海のつながりが薄れつつあります。このような現状を踏まえ、地元漁業者・企業・学校・大学・行政などが手を取り合い、松永湾を再び“豊かな里海”へと再生するための新たな連携組織「松永湾里海協議会」が誕生しました。

本シンポジウムでは、協議会設立を記念し、瀬戸内海の海域環境の最前線で活躍する専門家による講演や、地域を支える多様な立場の皆さんによるディスカッションを通して、“次世代へとつなぐ松永湾のあり方”を一緒に考えていきます。

※本シンポジウムはR7年度戦略的「令和の里海づくり」基盤構築支援事業の一環として実施しています。

【開催概要】

日時：令和7年11月5日（水）16:00～18:30

会場：しまなみ交流館（定員690名）＋オンライン配信（定員500名）

参加費：無料

申込：事前申込・登録不要（※定員に達した場合は入場制限あり）

主催：松永湾里海協議会

【プログラム】

16:00 開会挨拶

・平谷 祐宏（尾道市長）

- ・坂口 芳輝（環境省中国四国地方環境事務所長）

16:10 令和の里海づくり事業について

- ・西川 絢子（環境省 海域環境管理室長）

16:20 基調講演

「瀬戸内海の海域環境の変化とこれからの管理」

講師 **西嶋 渉 氏**（広島大学 環境安全センター長・教授）

内容：瀬戸内海における海域ごとの水産管理や栄養塩管理の方策、最新の政策・研究動向を紹介。

17:00 話題提供

「岩国市沿岸における藻場の再生事例」

講師： **杉本 憲司 氏**（宇部工業高等専門学校 教授）

内容：瀬戸内海沿岸の藻場再生の取組事例を共有。

17:30 松永湾里海協議会の展望

モデレーター： **西川 絢子 氏**（環境省 海域環境管理室長）

パネラー：

- ・浦島漁業協同組合 松若 組合長
- ・尾道東部漁業協同組合 神垣 組合長
- ・広島銀行松永支店 坂田 支店長
- ・株式会社クニヒロ 川崎 会長
- ・尾道観光協会 林 氏 ほか

18:30 閉会

【問い合わせ先】

松永湾里海協議会 事務局（尾道市役所 農林水産課内）

0848-38-9478

主催：松永湾里海協議会
～松永湾里海協議会設立記念シンポジウム～

日時 **2025年11月17日（月）**
16:00～18:30(開場15:30)

場所 **しまなみ交流館／オンライン配信**
オンラインはZoomウェビナーで配信します。
QRコードまたはURLより入場してください。
<https://us02web.zoom.us/j/86687012386?success>

参加費 **無料** | 事前申込・登録不要
(しまなみ交流館：定員690人)
(オンライン配信：定員500人)
※定員に達した場合は、入場をお断りさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

プログラム
16:00 開会挨拶 尾道市長・平谷 祐宏
環境省中国四国地方環境事務所長
坂口 芳輝
16:10 令和の里海づくり事業について
16:20 基調講演
「瀬戸内海の海域環境の変化とこれからの管理」
17:00 話題提供「岩国市沿岸における藻場の再生事例」
17:30 松永湾里海協議会の展望
18:30 閉会

今、私たちにできること
かつての松永湾は広大な藻場が広がり、アサリに代表される多様な水産物を育む豊かな里海でした。
しかし近年、海の環境は大きく変化し、藻場や水産物の減少など様々な問題が生じ、人と松永湾のつながりが失われつつあります。
このような状況に歯止めを、地元の漁業や企業、小・中学校、大学、行政等が連携し、豊かな里海を再興するための取り組みが始まりました。
皆さんと一緒に次世代へと繋ぐ松永湾の在り方を考えていきたいと思っています。

基調講演
西嶋 渉
広島大学環境安全センター長・教授
瀬戸内海における海域ごとの水産管理の在り方や栄養塩管理の方策について、最新の政策動向・研究動向も含めてお話しします。

話題提供
杉本 憲司
宇部工業高等専門学校・教授
瀬戸内海における藻場再生の事例として、岩国市沿岸の藻場再生事業を紹介します。

松永里海協議会の展望
松永湾里海協議会の主要メンバーで、松永湾の現状と課題、今後の展望について話し合います。

モデレーター：環境省海域環境管理室
西川 絢子 室長
パネラー：浦島漁業協同組合・松若組合長、尾道東部漁業協同組合・神垣組合長、
広島銀行松永支店、坂田支店長、クニヒロ・川崎会長、
尾道観光協会・林氏、他

※本シンポジウムはR7年度戦略的「令和の里海づくり」
基盤構築支援事業の一環として実施しています。

里海を、未来へ。

—松永湾の豊かさを取り戻すために—

地域の声と知恵をつなぐ第一歩に、ぜひご参加ください。

[illegible]

水辺の環境活動プラットフォーム事務局

info@mizubekankyo.env.go.jp